



物流ニッポン

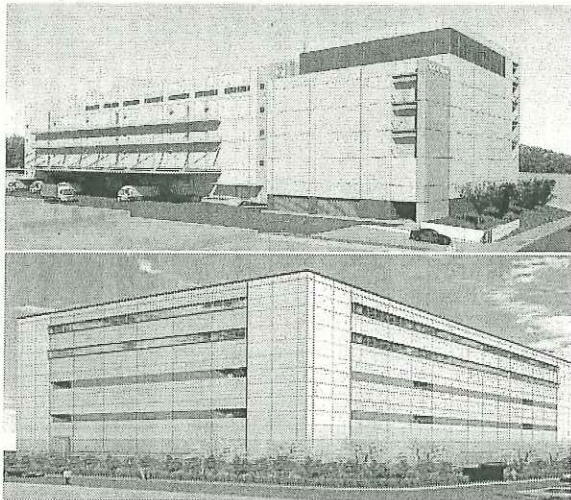
2008年(平成20年)

5 | 15 (木)

発行/月曜日・木曜日 第3132号

購読料/半年32,130円(月額5,355円、税込)

©物流ニッポン新聞社 2008 (昭和44年4月1日第三種郵便物認可)



町田(上)と
茨木の両セ
ンター(完
成予想図)

レコードセンター新設

三井倉庫 BPO事業を拡大

【高橋健太】三井倉庫は十二日、企業の文書保管業務を行う専用センター三棟を開業する、と発表した。東京都町田市、大阪府茨木市、福岡市でレコードセンターの中核拠点となる専用施設を整備し、ビジネス・プロセス・アウトソーシング(BPO)事業の拡大を目指す。投資総額百億円規模を見込む。

町田レコードセンターは地上七階建てで、延べ千九百平方メートル、地上五階(町田市)は、二〇〇四床面積二万三千平方メートル。建て、延べ床面積二万九千四百平方メートル。一〇年十二月に稼働した既存 茨木レコードセンター 三月の完成を目指す。施設の数地にBPO事業専用施設を新設。新棟(茨木市)は敷地面積九 九千四百平方メートル。また、福岡レコードセ

ンター(福岡)が十二日に発表した二〇〇八年三月期の連結決算資産除去損などを特別損失として計上したことか、純利益が前期比四五・六%減の十七億八千七百八十七円となった。不動産売上高は二・三%増の百八十七億七千七百八十七円となった。営業利益は二・四%増の六十六億五千九百九十九円となった。経常利益は二・九%増の九十九億九千四百九十九円(一億八千八百九十九円減)と、増収減益となった。

前期、特損計上で減益

【高橋健太】三井倉庫(有価証券の評価損、既存施設の再開発に伴う固定資産除去損などを特別損失として計上したことか、純利益が前期比四五・六%減の十七億八千七百八十七円となった。不動産売上高は二・三%増の百八十七億七千七百八十七円となった。営業利益は二・四%増の六十六億五千九百九十九円となった。経常利益は二・九%増の九十九億九千四百九十九円(一億八千八百九十九円減)と、増収減益となった。

中期経営計画「中計二〇〇七」を策定し、既存事業の質的転換と資本効率の向上を目指している。今回のプロジェクトはその戦略的な設備投資の一環。セグメント別では、一般物流事業が新規施設や輸出入貨物が堅調に推移し増収増益を確保。港湾運送事業はコンテナターミナル作業の取扱数量減少などで減収減益となったほか、海外事業は一部地域で家電製品の取り扱いの急激な減少などもあり、増収減益となった。〇九年三月期は売上高千六百六十三億九千九百九十九円(二・九%増)の見通し。純利益は九五・八%増の三十五億九千九百九十九円を見込んでいる。